

富士フイルムホールディングス株式会社
2022年3月期 第3四半期決算説明会
主な質疑応答

Q: 第3四半期の業績について、対計画の状況を教えてください。

A: ヘルスケアはメディカルシステム事業および培地が好調なライフサイエンス事業が牽引し、売上・利益ともに計画を過達。マテリアルズはほぼ計画通り。ビジネスイノベーションは、半導体等の需給逼迫による機器出荷・設置遅れに加え、部品価格の高騰等により、売上・利益ともに計画未達。イメージングは、チェキ・デジタルカメラの貢献により、計画過達となった。

Q: メディカルシステム事業が好調な要因は何か？

A: 富士フイルムと富士フイルムヘルスケアの統合効果が顕著に現れている。国内の生産部門統合に加え、販売部門では北米の販売会社を統合し、グローバルで相互の販路を活用したクロスセルが寄与している。また、内視鏡事業も中国の他、欧州・北米も高い成長を遂げている。

Q: イメージングの業績予想が上方修正された背景を教えてください。

A: チェキの新製品「instax mini Evo」の販売好調に加え、スマホプリンター機能によりフィルム消費量が増加している。年末商戦は特に日本・中国で好調だったが、欧米も含め、第4四半期もグローバルで好調を維持すると見ている。また、ミラーレスデジタルカメラ「FUJIFILM GFX100S」の他、昨年9月に発売した「FUJIFILM GFX50S II」も牽引している。

以上